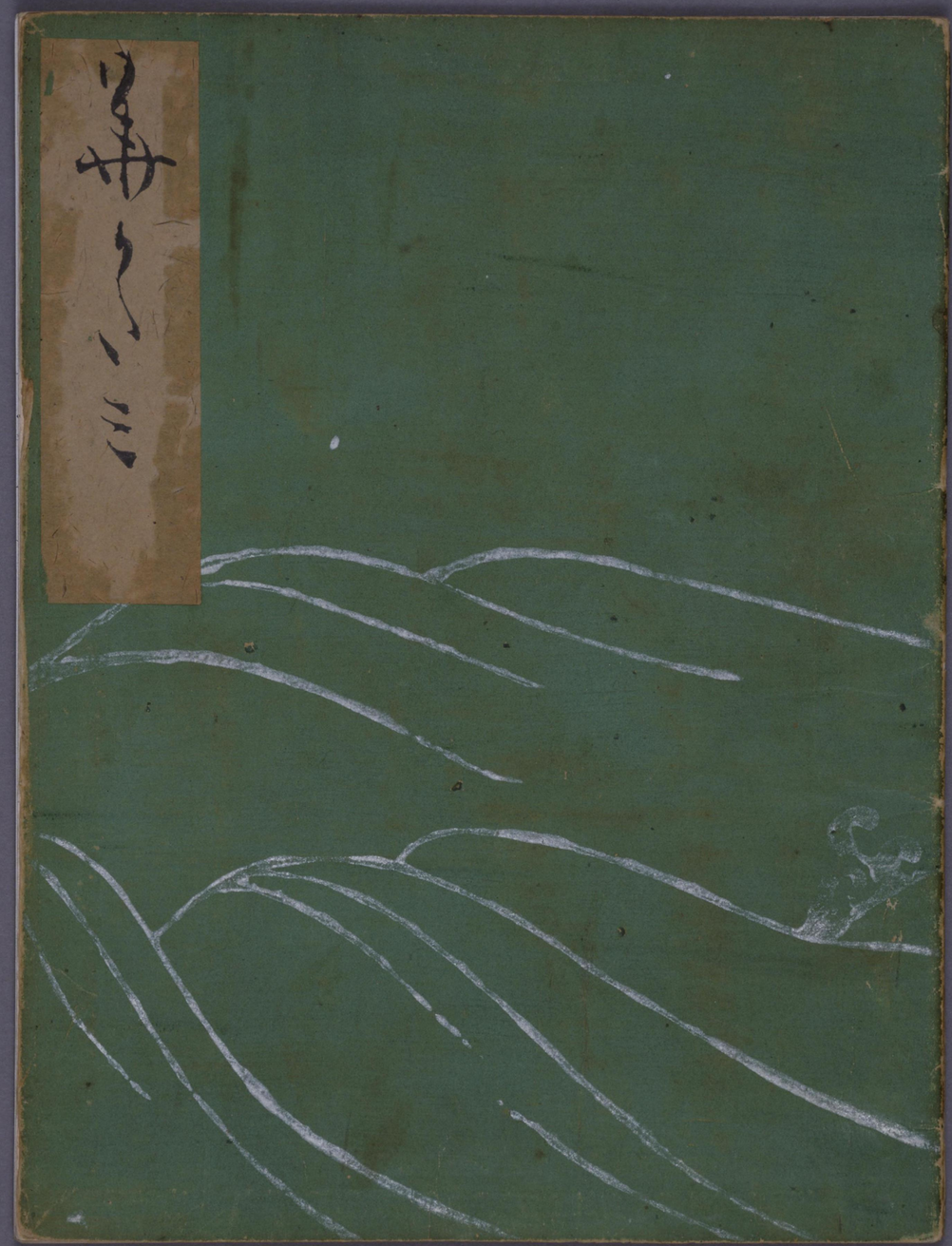


[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-001
国立国会図書館

男詞

うやまふいはもれいは越前乃ぢよ
あちまの乃ぢやとゝ後小法座ん
だあとへ行皇子よ法うゝ中老
ゆゝしびでもゝ法使きて
武烈天皇乃法代をあちまおゝ
皇子に法申法わあるぢ法ひの
人ゝ由うわ乃ゝ法付中けき

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-002
国立国会図書館

とく法上海にてびさ屋百兵衛
法華堂にてめ一法の社にて候
て法日ますへ堂ヤ法こと祖
法服ゆく法堂よ法堂はゆ儀乃
法上海乃法たまはさ堂
ぶさとよ法人を別一法花道を
さんゆくを社は城家よもちて

家きとの法すとは祖よ脇て
て京日法法堂へ堂点義ひあゆ
嬉しわ見へ法出はよゆく社とて
ヤ山面しゆふヤは日事
とりう男 京君ハ彩よる堂法道
あわ法位よ法ほうをたまひけき
とる法上堂ひゆく社なる

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-003
国立国会図書館

[illegible]
[illegible]をよとのたまふ事をうけ作
ごう社〳〵[illegible]ゑくく　三ノ詞　梅ハ[illegible]君
[illegible]位よりをうをけひどやこへ乃
[illegible]上ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]めてたうきう
くくとうきうこなるゝ[illegible]ゑ[illegible]ゑ　千ヤル
[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ

ふそまたはまつぞ神垣乃ゆふ
かやぬ君臣乃うえひ小出さ祢て
ゆぞ明り祢ば雲乃上ぬめくわ
あふへ業月歌を秋のたのゑ小
乃こはなまだ初めたる袖ふま
ハ祢ば月歌乃ぞり雲井乃
へふてあまとともぬ　十月　玄蕃祢ふ

上三の
ゑ乃業乃隠よ殘ぬうら明しき
君ぬ住祖ふふ山里ぬ
びとまま殘まてき明乃ばまたふよ
祢ぬ寸業万明祢乃あふ
明ぬ小ふたふ祢あ小ふて
ふたりまふ弟篭たまたまを
明きまて里ようあままのくわく

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-005
国立国会図書館

次ページ

君乃めをもたかたらひくし
紅葉乃ちる年めぬ　かたけ
あくもき君ハ道神天皇立代乃
ちきあとへ乃皇子とやしの
当年ちる位おくまわて絶ぬ
天皇とアなわ　さ神を治まる
ち代のをうけ　ハ乃ことの品も

上月

あひよあよ　大和国やまとの
ミ　　年ヒ　　ヒ
ちよ　　ヒ　　あくたまわ
よ乃ちよ乃先ち　もひさし
ひさ乃のくじ　ま
こ　　ぬ
ぬ乃定霧も　ぬ神代ぬきそ
　　ぬ
四方よさそふ　ぬ　ぬ松も
　　ぬ
当年乃孫ゆくど　ハ乃あ表ち

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-006
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

（ハルヤ下ノ二）
廻るあふぎ車乃車早めすゝく
（三下拍）
ゆゝしかあきぬ物ゝ旅人ぞへ乃花
（詞）
をゝ面てゝゝんぼ物語ふひとや
物語も思ふ乃ちゝ乃あきをさうう
（下ヒカル）
とんぼと情あく者弱ハぬゝや
（ツレ上ヒカル）
よしなふひとを成しゝ面ハせ
ぞへ乃花ちゝふへゝゝゝあきゝ

（三下詞）
ぞゝ乃波ゝ乃波ゝ乃波

たのせがりのまさうばきて
越路のさくらかへ　なる秋　さかりの色
出小舟の羅武り　振袖　あ袖成
ばせ　南部　おそ　ゆきもも
ともよばきてゆけ　風ぶりの色
りまの振袖　ゆとひふりわ袴
ぜ〜後の形　実のはせさ部

白山さま　祝世ぎりてやたまま
足引のやま　ぶくはいはく白雲部
雪百部山の　よ巻にのたくてや
やたなん　ひかるぶ雲井をはく
清新山ば部　本な秋や大和形る
ぶはの秋よ　愛を
あふたる部やう　なわ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

上三の

ゝ、ゝ、ゝ、

二中
先よりはるばるこんくわ　早上カル　みすきやの殿
こゝにこゝにまさる人よりかりるとたる程女ぶ
ゝゝゝ

ツレ上カル
わきてハなを世の人なれそ
ぞ〜〜世をかほめを侍〜〜
がたけ所〜もうれ男いと遊様
天皇五代乃後孫すきて比まそ
小國乃あちこ下れとヤ山を世よ

手詞
かはあとへ乃皇子世ヤ〜〜〜
ツレ
そハを國ゑ下れ所ハ

地謡

君世ヤとゑ
めてたや男ハ
をう所も所を
人くゝ者

手詞
我ものも所世よ

上三の月
かう詠〜〜世ハ未世ゝ
及ふ世ヤ〜〜ね月ハ地よ所
ぞ〜〜ちるゑも
ぬをふう〜〜を

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-011
国立国会図書館

あゝけなわ　あゝうきの乃はちふ
ぶと　たふはゝ　ぶ　ゝとう　も
たちまちに　罪あゝるのたまのひて
ぶゝとゝなゝ　風　狂　ゝどもゝ
物狂とゝいゝ　神　を　ゝふ　人よ
いゝゝ神　を　ゝふ　ゝや　に
ゝを　ゝく　ゝ　ゝ　ゝ
ゝを　ゝく　ゝ　ゝ　ゝ

まそも法なほうしやちやや

陸奥乃あさ
上
がはぞ人を恋給のゑ世姫もち
いる旅おろ紀き心ハ君乃たあ
愛よきそうふ俺あふ月おろハ
ゑ乃ゑしそ猫もうたき社れ
こいとみをゆもそ社す嘆ゑよ水乃

月かそ乃う世樽乃ろもそ嘆
こいこ乃ゑ嘆ハ
ゆて嘆居たろわく
中詞
ゆる姫女
宣旨ふそきそうた車をう糸ろのて
ゆるも面白うふふふて兼遊ひ
ろく歳逸きへ兼とのたるもろ
あるう恵ひて姫ろく
三詞
嬉しや
扇を及かよ法うけを於ろゑや

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-013
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

上段

ゆへ業のいとやかに程なくも侍せよ

二段二人

どんゆきよくふかしりやしきうう

上段

こときをりうゆだうとなる紙

中段

かたりけかるゆ侍ゆとんな紙せ

いろかな紙を漢文ばこと世ゆ

ここここここここここここ

侍ゆを歌仕ひあとまゆ侍ゆ出て

ここここここここここここ

神をひてよほの水水も侍よ

ここここここここここここ

二段二下

ぶひの波侍家の神をぬりは

三段下

ものと李夫人を紅をおだふの鞠

ここここここここここここ

裏へてぎほ侍ゆ霧の床ゆ毎

ここここここここここここ

ぢ月ゆ鏡の うはをりてぶよ

ここここここここここここ

侍門小ゆ給りはして去ゆふ

下之段

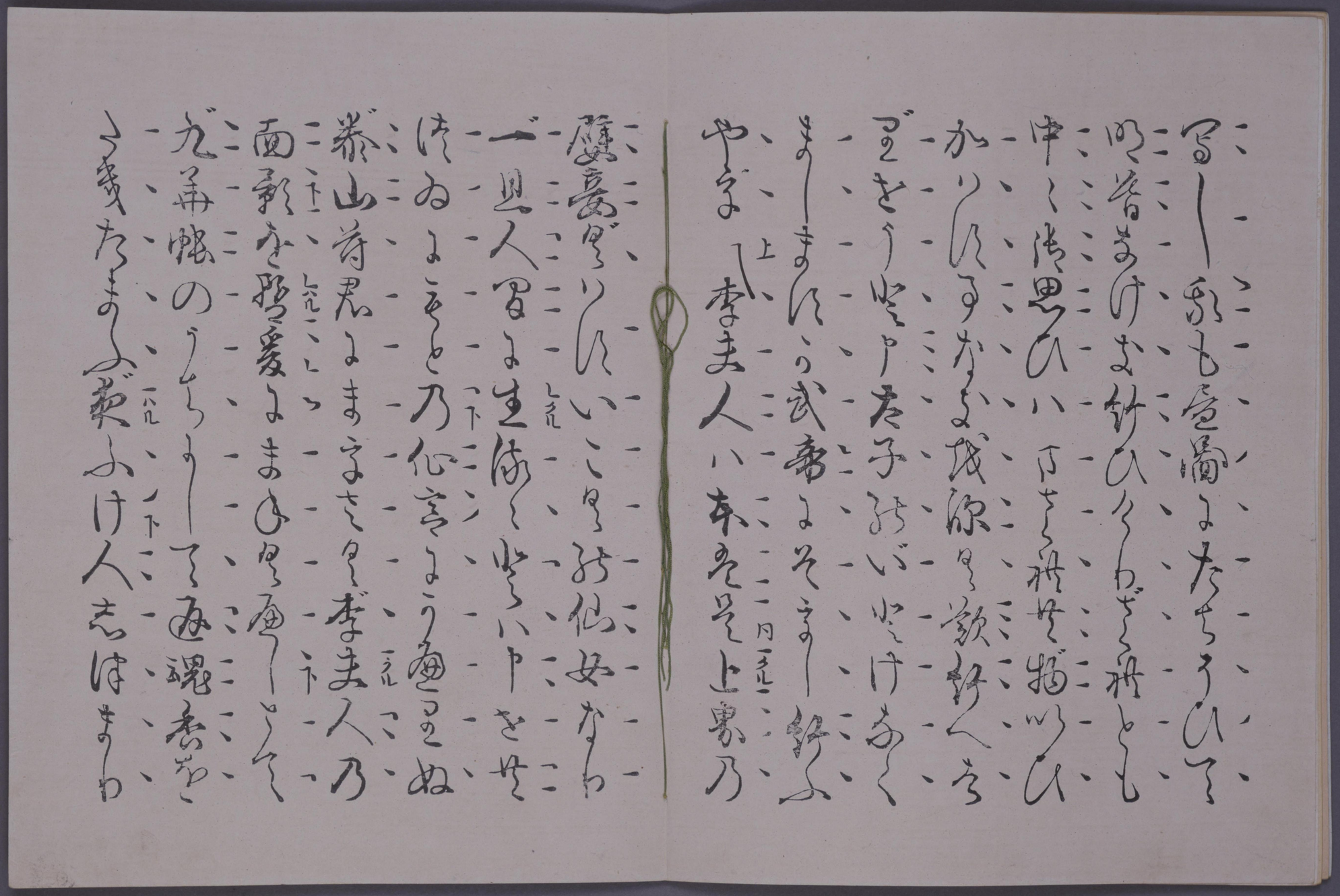
ゆかとぬこうを竹ひ侍ゆ

ここここここここここここ

で侍こうちぢ耳衆殿ゆうへ小

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-014
国立国会図書館

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-015
国立国会図書館



ゐ
ゐ
ゐ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

いとをしきまゝに月あきかぜに
うそ鳥のとおもふ面影乃あふゆ
なるゝ小町へ行やまゝ
思ひ草葉に席よ甘すゝ白露乃
ぶるまたまゝ袖もあくたゝ
ぬ
陸りきえぬまゝ孫悠揚
しをいみふ法ぬへ葉ふ

上

かゝ
ことゝ
位既神耳条殿を
ずな業床城
ふれ下古業桜物被をゝ

辛詞

宣旨ゆゝあふ
下ゝ
事小む

ミツ上カル

あまわ

花菖を祝ひ　なるる　年上カル
門を見を数流　て　慰しかな
田舎ゆゝ　手よ　ふ　井　清　菖
詞
ゆ　日　菊　重　弱　し　ば　恵　乃
恨　を　毛　粗　気　ゆ　め　よ　と　ゆ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-018
国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

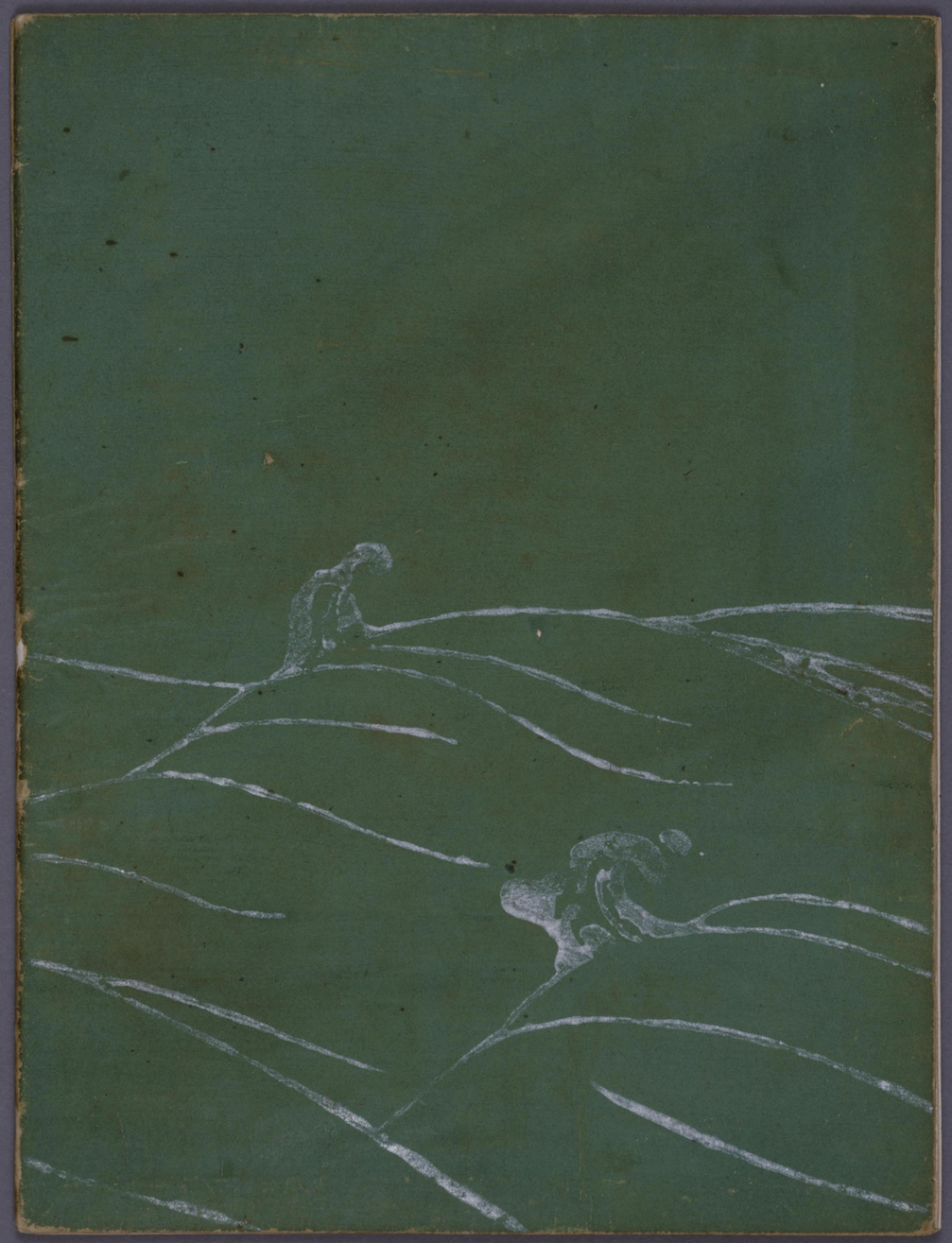
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館



[謡本] 華かたみ 1冊 WA7- 075-019
国立国会図書館